

援配置等についても検討すること。また、公立病院特別債等を活用して、早期に不良債務の解消を図り、公営企業法全部適用のスタートを切ること。

産業建設常任委員会

本委員会に付託された議案は、佐渡市就業改善センター条例の一部を改正する条例の制定など条例8件、公の施設に係る指定管理者の指定が8件、財産の無償譲渡についてが1件、市道路線の認定についてが1件、市道路線の廃止についてが1件、特別会計補正予算が2件、一般会計補正予算の予備審査が2件、計補正予算の予備審査が2件、特別会計予算が2件、水道事業会計予算が1件、一般会計予算の予備審査が1件、請願が1件、陳情が1件でした。

審査の結果、一部意見をつけ原案どおり可決しました。

〔意見〕

1. 林業振興費について、

しいたげ栽培者が年々減少している。このことよって佐渡のナラ枯れ被害が拡大している。林業振興の観点からしいたげ栽培への支援を強化すること。

2. 水産業振興費について

深層水施設管理費については費用対効果を得ていないことと、改善が見込まれないことから、今後事業のあり方について抜本的に検討すること。

3. 観光費について

予算総額2億3815万円となっているが、佐渡観光の低迷に歯止めがかかっていない。観光協会への指導を強化するとともに、統一かつ効果的な予算執行に努めること。

陳情第1号、「防犯灯修理費用地元負担通知」の撤廃については、21年度4月から防犯灯の修理費用を地元負担とする通知の撤廃または、実施時期の延期を求めるものでありますが、審査の結果、「市の財政上やむを得ないのであれば、平成22年4月からの実施に変更していただきたい。」という陳情事項を採択すべきものとして決定しました。

請願第1号、金融危機に端を発する大量解雇・雇止めから雇用とくらしをまもる緊急対策の強化を国に求める意見書提出を求める請願については、審査の結果、採択すべきものとして決定しました。

特別委員会活動報告

行財政改革特別委員会

本委員会に付託の事件は、調査の結果次のとおり決定したもので、会議規則第102条の規定に基づき報告します。

本委員会は、市の行財政改革の推進及び議会改革に関することを付託事件とし、平成20年4月の第2回臨時議会において議員発議により設置された。

本委員会の運営については、「議会改革」に加えて、当市の行政改革の喫緊の課題である「本庁、支所、出張所のあり方を主とした行政機構改革」、「下水道事業費縮減のための大幅見直し」について可及的速やかに結論を得ることを確認の上、集中的、精力的に調査を行った。

結果、これまでに計20回の特別委員会を開催し、次のとおり3回の中間報告を行った。6月定例会においては、4年後の改選時の議員定数について現行の議員定数28人から4人減の24人にすべきとの調査結果報告並びに

佐渡市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について、特別委員会の賛同委員による発議案の提出を行った。9月定例会においては、議会機能を含む本庁、支所、出張所について次の提言を行った。

- (1) 議会機能のすべてを来年度前半までに本庁舎内に移転すること。
- (2) 本庁の出先的な機関として、両津、相川、南部の3地区に地域行政センター（仮称）を配置する。これ以外については、必要に応じて諸証明を発行する窓口業務などの機能を備えた地域支援センター（仮称）を配置する。
- (3) 当市の実態を鑑みて、副市長2人制の必要性は極めて低いことから、副市長の定数は1人にすべきである。
- (4) 当市の実態を鑑みて、簡素で効率的並びに市民から見ても責任や権限の所在が明確な組織体制が必要であり、早急に現行の部制を廃止し、課制へと移行すること。

- (5) 職員数及び人件費について、当市の実態は類似団体と比較し突出していることから、10年後の平成30年度までには、現行の支所・出張所の職員数も含め500人程度、人件費は40億円程度とすべきである。12月定例会においては、下水道事業が当市の財政状況を圧迫させている要因の一つであるとの共通認識から、原則来年度から新規、継続を問わず汚水管渠の延伸工事を凍結し、接続希望者の把握を兼ねた住民意向調査を実施すること。この調査結果の検証に基づく全体計画の精査、抜本的な見直しに併せて、喫緊の課題である接続率向上に向けた取組みに努めることを提言した。

以上をもって、本委員会の所期の目的、役割は達成されたので調査を終了します。なお、10か市町村の合併で発足した本市は、丸5年を経過したにもかかわらず合併の成否を握る行政改革が遅滞し、実効をあげるに至っていません。議会としては、今後とも行政改革について「批判と監視」を緩めることなく、断行を迫る立場を堅持していきます。



世界文化遺産登録に向けて

— シンポジウム —

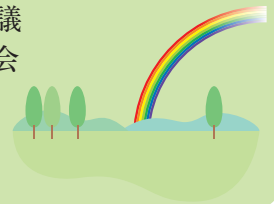
「佐渡金銀山遺跡を 世界遺産に」 に出席しました



3月20日、新潟市朱鷺メッセにて「佐渡金銀山遺跡を世界遺産に」と題したシンポジウムに、大多数の議員が出席しました。基調講演、高野市長を含む4人のパネリストによるパネルディスカッションが行われ、世界遺産登録に向けての理解を深め、さらに登録への思いが強まりました。

◆議会のうごき

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1月 16日 行財政改革特別委員会 | 2月 6日 総務文教常任委員会 |
| 19日 総務文教常任委員会 | 6日 市民厚生常任委員会 |
| 19日 市民厚生常任委員会 | 6日 産業建設常任委員会 |
| 19日 産業建設常任委員会 | 6日 議会運営委員会 |
| 19日 各派代表者会議 | 9日 第1回臨時会 |
| 20日 議会報編集特別委員会 | 9日 議会運営委員会 |
| 23日 議会報編集特別委員会 | 16日 市民厚生常任委員会 |
| 23日 各派代表者会議 | 16日 議会運営委員会 |
| 23日 県議会 佐渡-羽田間直行便就航に係る要望書提出 | 23日 議員全員協議会 |
| 26日 総務文教常任委員会 | 23日 各派代表者会議 |
| 26日 市民厚生常任委員会 | 27日 議会運営委員会 |
| 26日 産業建設常任委員会 | |
| 26日 議会運営委員会 | |



◆行政視察来市状況

- 2月 3日 大分県日田市議会 (目的:地域おこしチャレンジ 人材育成)
 18日 北海道北見市議会 (目的:市立病院運営状況)
 3月 26日 神奈川県議会 (目的:トキ野生復帰への取組)



表紙紹介

「山王(さんのう)さん」と呼ばれ親しまれている上新穂・日吉神社にて、4月14日、春祭りが行われました。少年の射手によるやぶさめ、鬼太鼓の舞、下がり羽、見事な神輿が奉納されました。当日は小雨の演出もあり、厳かな雰囲気の中で鬼が舞っていました。

編集後記

同じものは二つとできないという春の使者、雪割草のように、議員一般では括れない個の集団としての議会。お互いの違いを認め合うことで多様な視点からの議論が生まれ、より多くの市民の意思を政策に反映させることが可能になります。施政方針や当初予算に対して、個々の政治信条、公約に基づく代表質問、一般質問を含め、本会議や委員会質疑によって最大公約数が求められ、予算や政策が実現します。この様な議員活動の実態を市民にお知らせするPR紙として、分かりやすく、読みやすい紙面づくりに編集委員一同努力をしています。